

あなたとつくる健康長寿の姫路（まち）市民アンケート結果（概要）

I 調査概要

1. 調査の目的

高齢者福祉関連事業について、限られた資源の中で、持続可能性のある施策へと転換していくため、より幅広く、より効果的な健康長寿につながる事業を検討するにあたり市民意見を把握する。

2. 調査実施概要

姫路市市民意識調査	
対 象	姫路市内在住の満 40 歳以上の方 9, 5 5 4 人 (住民基本台帳から無作為抽出)
調査実施時期	令和 5 年 7 月 3 1 日 (月) ~ 8 月 1 5 日 (火)
調査方法	郵送配布・郵送/WEB 併用回収
有効回答数	3, 7 7 4 人 (39.5%)

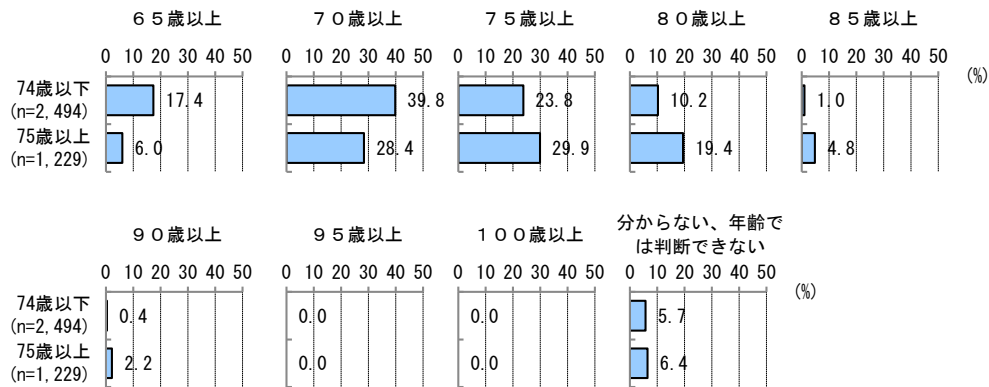
3. 報告書の見方

- ① 回答は、各質問の回答者数 (n) を基数とした百分率 (%) で示し、小数点第 2 位を四捨五入した。
 - ※シングル回答の比率の合計は四捨五入の関係で 100.0% にならない場合がある。
 - ※年齢別のクロス集計のグラフでは「年齢無回答」の比率を掲載していないため、比率の合計は 100% にならない。
- ② 図表上の「MA%」という表記は複数回答 (Multiple Answer の略) の、また、「LA%」という表記は制限つき複数回答 (Limited Answer の略) の意味である。
 - ※比率を算出する母数は回答者数のため、マルチ (複数) 回答の比率の合計は 100% を超える。
- ③ 図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

II 調査結果（抜粋）

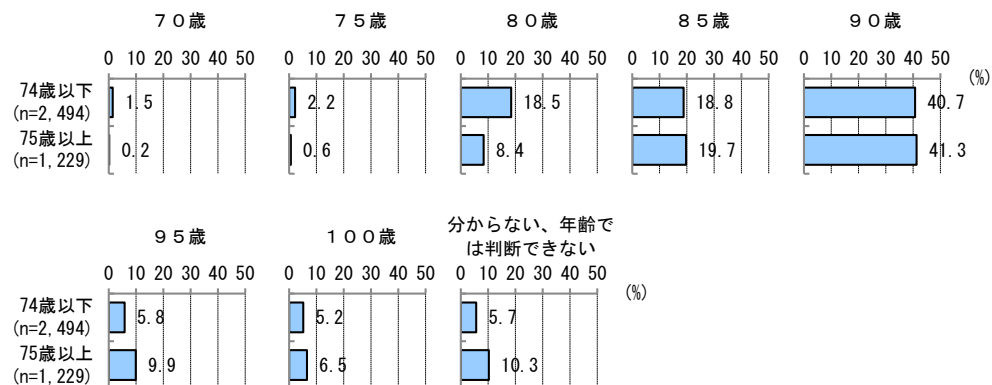
1. 世界保健機関（WHO）は65歳以上を「高齢者」と定義していますが、あなたにとって「高齢者」は何歳以上 ですか。

74歳以下では「70歳以上」、75歳以上では「75歳以上」が最も多くなっている。



2. 何歳まで生きられたら「長生き」だと思いますか。

年齢に関わらず、「90歳」が最も多くなっている。



3. 身近な人、著名人など誰でもかまいません。あなたが手本にしたい高齢者は、どのようなことをしていますか。(2つまで選択可)

「夢中になれる趣味を持っている」が43.1%と最も多く、次いで、「身だしなみに気を使っている」が40.7%、「社会的な活動(仕事・ボランティア・地域活動)に参加している」が28.5%となっている。
 年齢別にみると、74歳以下では「夢中になれる趣味を持っている」が、75歳以上では「身だしなみに気を使っている」が最も多くなっている。

(上段：実数、下段：2LA%)

	調査数	身だしなみに気を使っている	社会的な活動(ボランティア・地域活動)に参加している	夢中になれる趣味を持っている	運動を続けている	新しいことにチャレンジしている	世代の違う人と交流している	その他	無回答
調査数	3,774 100.0	1,536 40.7	1,074 28.5	1,625 43.1	982 26.0	687 18.2	524 13.9	126 3.3	178 4.7
74歳以下	2,494 100.0	1,023 41.0	686 27.5	1,138 45.6	621 24.9	532 21.3	369 14.8	89 3.6	84 3.4
75歳以上	1,229 100.0	494 40.2	375 30.5	471 38.3	343 27.9	145 11.8	151 12.3	35 2.8	90 7.3

4. インターネットを使っていますか。(複数選択可)

「スマートフォン(スマホ)で」が63.3%と最も多く、次いで「パソコンで」が34.7%、「タブレット型端末で(iPad等)」が12.9%となっている。
70歳を超えると、スマートフォンを使っている人が急激に減少している。

(上段:実数、下段:MA%)

	調査数	スマートフォン(スマホ)で	パソコンで	タブレット型端末で(iPad等)	家庭用ゲーム機で	スマート家電で(インターネットに接続できるテレビなど)	その他	しない・できない	無回答
全体	3774 100.0	2390 63.3	1308 34.7	487 12.9	119 3.2	269 7.1	5 0.1	1083 28.7	135 3.6
40~44歳	234 100.0	224 95.7	134 57.3	69 29.5	38 16.2	34 14.5	0 0.0	4 1.7	3 1.3
45~49歳	285 100.0	275 96.5	163 57.2	81 28.4	37 13.0	44 15.4	0 0.0	3 1.1	1 0.4
50~54歳	346 100.0	333 96.2	206 59.5	77 22.3	17 4.9	45 13.0	1 0.3	5 1.4	2 0.6
55~59歳	352 100.0	315 89.5	182 51.7	70 19.9	8 2.3	40 11.4	1 0.3	20 5.7	3 0.9
60~64歳	375 100.0	315 84.0	181 48.3	63 16.8	4 1.1	54 14.4	0 0.0	40 10.7	8 2.1
65~69歳	405 100.0	307 75.8	160 39.5	47 11.6	2 0.5	21 5.2	0 0.0	66 16.3	14 3.5
70~74歳	497 100.0	273 54.9	129 26.0	36 7.2	6 1.2	16 3.2	0 0.0	174 35.0	14 2.8
75~79歳	478 100.0	182 38.1	78 16.3	17 3.6	1 0.2	8 1.7	1 0.2	237 49.6	27 5.6
80~84歳	392 100.0	103 26.3	48 12.2	15 3.8	2 0.5	6 1.5	1 0.3	223 56.9	38 9.7
85~89歳	227 100.0	33 14.5	11 4.8	5 2.2	2 0.9	0 0.0	1 0.4	176 77.5	12 5.3
90~94歳	100 100.0	5 5.0	2 2.0	3 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	84 84.0	9 9.0
95~99歳	26 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 96.2	1 3.8
100歳以上	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3	0 0.0

5. インターネットで利用したことがあるサービスをお答えください。(複数選択可)
 (4で「しない・できない」以外を回答した方のみ。)

「分からないことを調べる等の検索」が82.6%と最も多く、次いで、「E-mail (友人とのメールのやりとりなど)」が62.4%、「SNSの利用 (Facebook、Twitter、LINEなど)」が56.7%となっている。74歳以下は「買い物」の利用も多いが、75歳以上では「買い物」の利用は少数である。

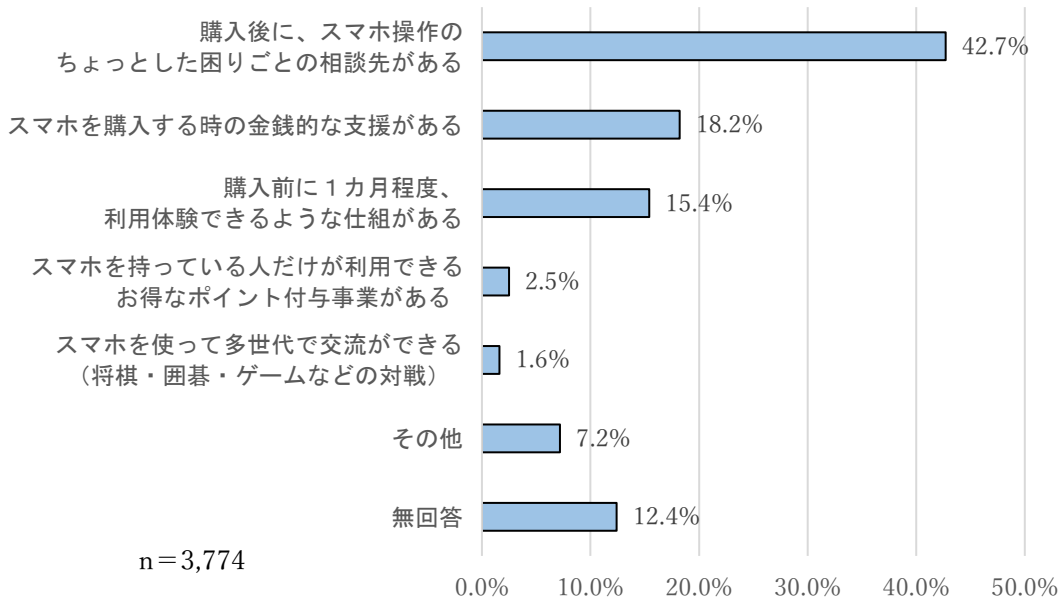
	調査数	食料品や日用品の購入(生協のネット注文も含む)	お歳暮、おもちゃなど贈答品の購入	家具・家電の購入	書籍の購入(電子書籍を含む)	衣類の購入	料理の出前宅配サービス	音楽等のダウンロード視聴サービス	インターネットバンキング	e-TAX(確定申告)
調査数	2,556 100.0	1,351 52.9	783 30.6	1,024 40.1	874 34.2	1,184 46.3	253 9.9	796 31.1	682 26.7	388 15.2
74歳以下	2,137 100.0	1,271 59.5	757 35.4	962 45.0	833 39.0	1,125 52.6	244 11.4	750 35.1	652 30.5	364 17.0
75歳以上	392 100.0	69 17.6	21 5.4	55 14.0	36 9.2	51 13.0	7 1.8	41 10.5	26 6.6	21 5.4

(上段：実数、下段：MA%)

	調査数	ふるさと納税	税金、介護保険料、各種公共料金などの電子マネー納付	行政サービスに関する申請書の提出(給付金申請、マイナンバーカード申請など)	SNSの利用(Facebook、Twitter、LINEなど)	QRコード決済(PayPay、d払い、auPayなど)	分からないことを調べる等の検索	E-mail(友人とのメールのやりとりなど)	その他の買い物、手続き等	その他	無回答
調査数	2,556 100.0	411 16.1	243 9.5	606 23.7	1,450 56.7	1,096 42.9	2,112 82.6	1,595 62.4	740 29.0	82 3.2	94 3.7
74歳以下	2,137 100.0	399 18.7	238 11.1	582 27.2	1,329 62.2	1,046 48.9	1,825 85.4	1,403 65.7	694 32.5	57 2.7	35 1.6
75歳以上	392 100.0	10 2.6	4 1.0	20 5.1	111 28.3	43 11.0	263 67.1	175 44.6	38 9.7	25 6.4	56 14.3

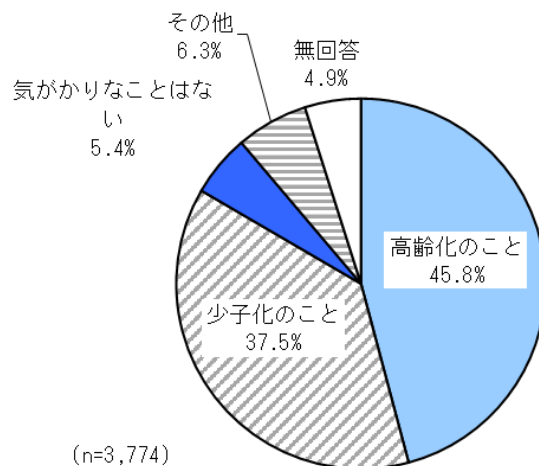
6. デジタル機器の活用は生活が便利になる等の様々なメリットがありますが、70歳以上の方のスマホ所持率はまだまだ低く、デジタル活用が進んでいない状況です。どのようなことがあれば所持する人が多くなると思いますか。(1つ選択)

「購入後に、スマホ操作のちょっとした困りごとの相談先がある」が42.7%と最も多く、次いで、「スマホを購入する時の金銭的な支援がある」が18.2%、「購入前に1カ月程度、利用体験できるような仕組みがある」が15.4%となっている。



7. 今後、少子化により労働人口は減少し、高齢者人口がピークに達する2042年(令和24年)頃には高齢化率は35%を超える見込みです。将来の姫路市において、現在、あなたにとって気にかかることは何ですか。(1つ選択)

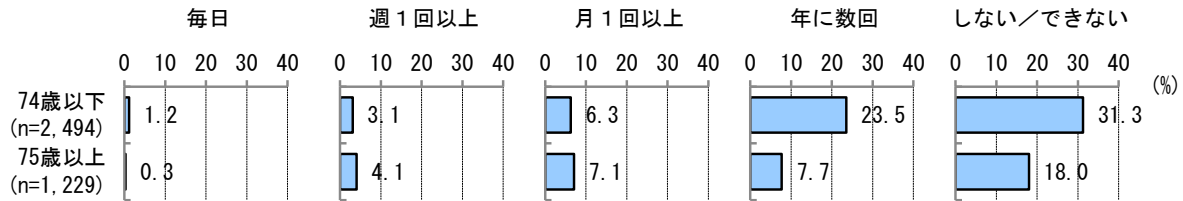
「高齢化のこと」が45.8%と最も多く、次いで、「少子化のこと」が37.5%、「気にかかることはない」が5.4%となっている。



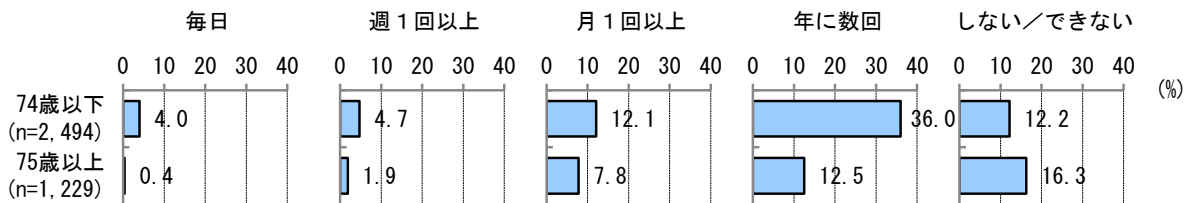
8. 外出について

75歳以上はどの交通機関も積極的に利用している状況ではないが、バス及びタクシーを利用した外出頻度は、週1回以上・月1回以上では74歳以下より75歳以上の方が、やや割合が高い。また、75歳以上では自分で運転して外出する機会が大きく減少する。

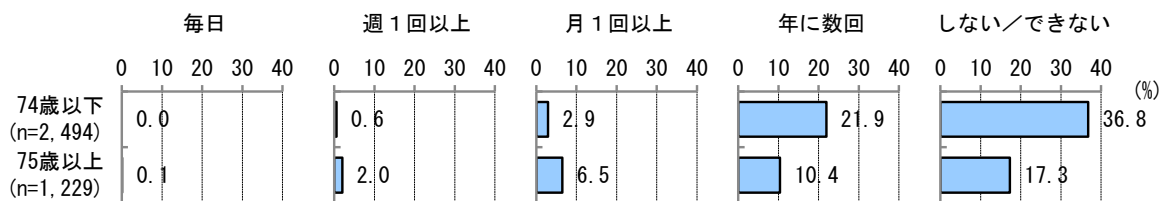
(1) 「バス」での外出頻度



(2) 「電車」での外出頻度



(3) 「タクシー」での外出頻度



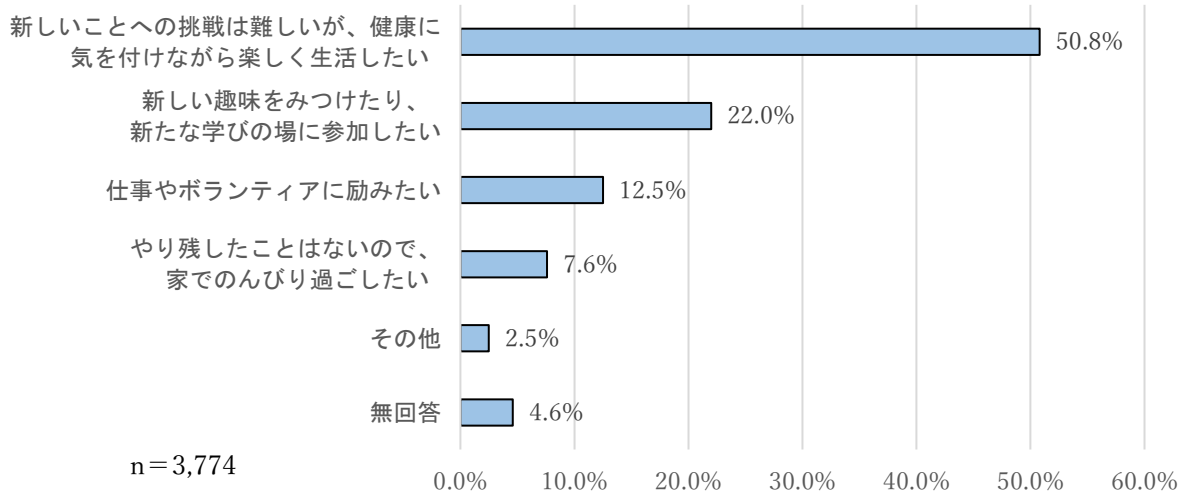
(4) 「車（自分で運転）」での外出頻度



9. 「高齢になった今も、まだまだ元気。自宅で生活しているし、自分のことは自分でできる毎日である私。」を想像してお答えください。

どのように過ごしたいと思いますか。(1つ選択)

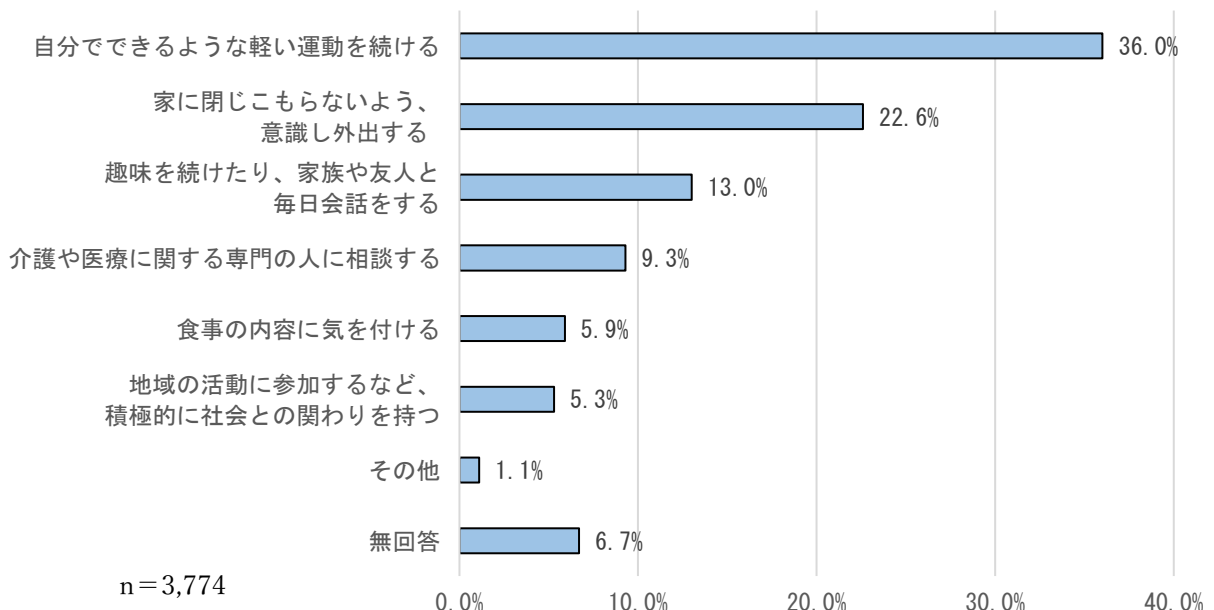
「新しいことへの挑戦は難しいが、健康に気を付けながら楽しく生活したい」が50.8%と最も多く、次いで、「新しい趣味をみつけたり、新たな学びの場に参加したい」が22.0%、「仕事やボランティアに励みたい」が12.5%となっている。



10. 「高齢になった今、自宅で生活しているけれど、少し足腰が弱ってきた。日常生活の中でも、1人でできなくて、ちょっとした手助けが必要なことがある私。」を想像してお答えください。

これ以上弱らないように、または以前のような「元気な私」に戻るために必要なことは、どんなことだと思いませんか。(1つ選択)

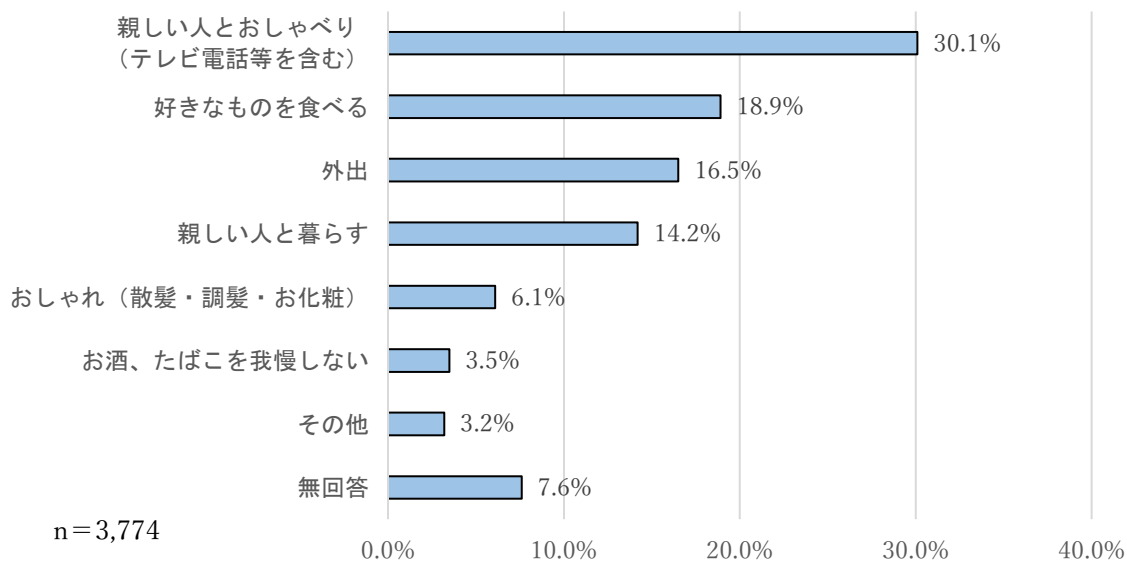
「自分でできるような軽い運動を続ける」が36.0%と最も多く、次いで、「家に閉じこもらないように、意識して外出する」が22.6%、「趣味を続けたり、家族や友人と毎日会話をする」が13.0%となっている。



11. 「高齢になった今、自宅で生活しているが、自分でできないことが増えてきた。毎日の生活のすべてに介護が必要な状態である私。」を想像してお答えください。

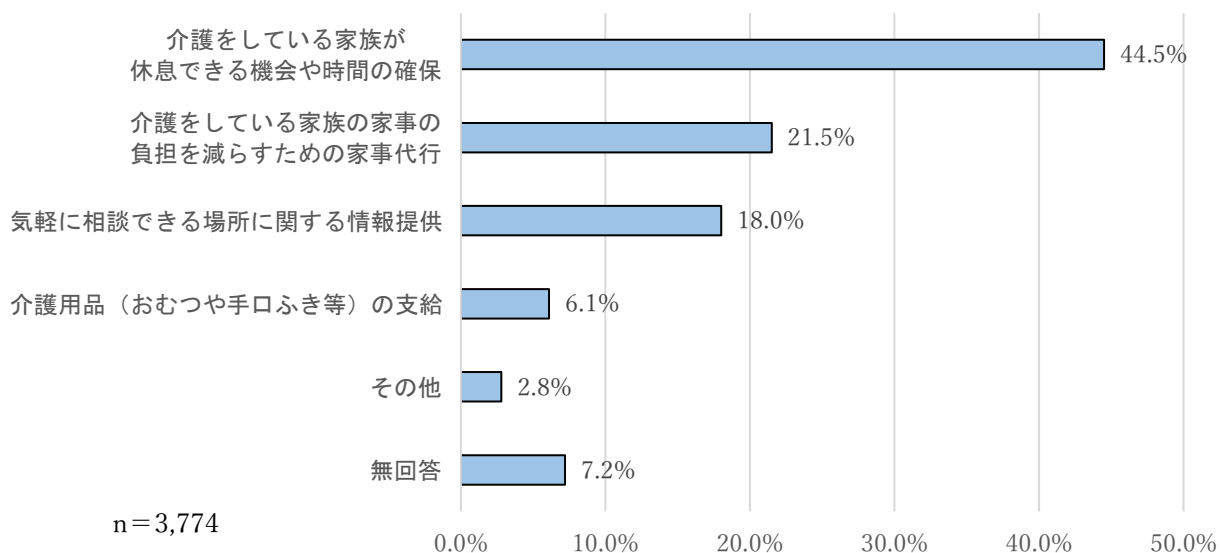
「親しい人とおしゃべり（テレビ電話等を含む）」が30.1%と最も多く、次いで、「好きなものを食べる」が18.9%、「外出」が16.5%となっている。

(1) 「毎日の生活に介護が必要な私。」がしたいことは、何ですか。（1つ選択）



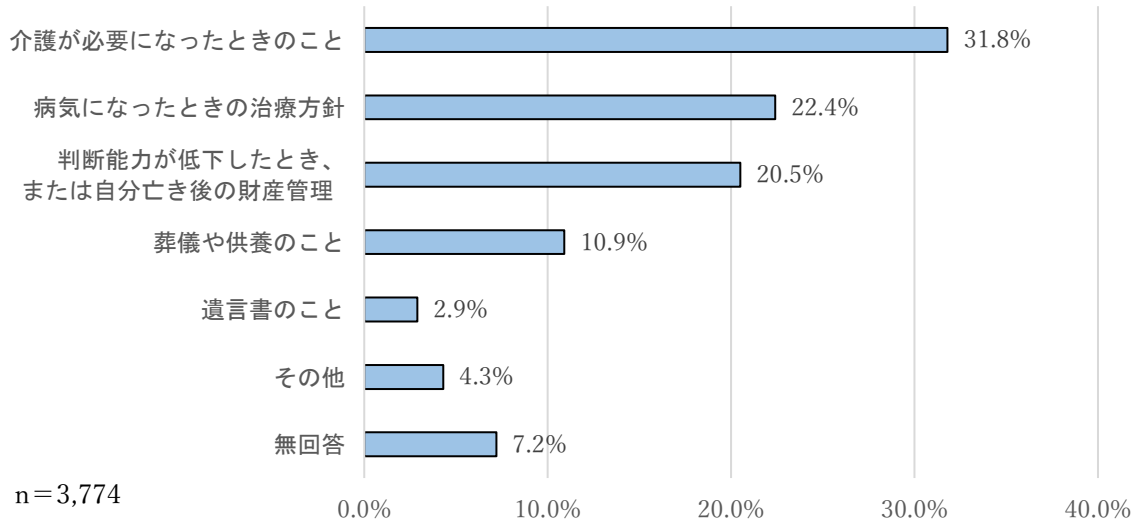
(2) 「私」を介護している人に対して、どのような支援があればいいと思いますか。（1つ選択）

「介護をしている家族が休息できる機会や時間の確保」が44.5%と最も多く、次いで、「介護をしている家族の家事の負担を減らすための家事代行」が21.5%、「気軽に相談できる場所に関する情報提供」が18.0%となっている。



1 2. 人生は思いどおりにならないものですが、人生の最期を迎えるに当たって、あなたが家族等に伝えておきたいと思うことはどんなことですか。(1つ選択)

「介護が必要になったときのこと」が31.8%と最も多く、次いで、「病気になったときの治療方針」が22.4%、「判断能力が低下したとき、または自分亡き後の財産管理」が20.5%となっている。



1 3. 家族など近い人と、自分の最期をどう迎えるかについて、話し合った ことはありますか。

「ある」が19.2%、「ない」が76.2%となっている。

